

第3の躍進へ・中国ブロック活動交流ニュース

中国ブロック

発行／日本共産党国会議員団中国ブロック事務所

〒703-8288 岡山市中区赤坂本町 1-31 14/2/19 NO. 27

TEL086-273-7747 FAX086-272-7108 Email jcp-chu@mx36.tiki.ne.jp

若い世代に入党の呼びかけを・・岡山県党会議での石村智子さんの発言

第26回党大会が打ち出した「党の世代的継承」問題で、若い世代に入党を働き掛けた経験についての、石村智子さんの岡山県党会議での発言を紹介します。

党大会を前にした年末、若い世代を党に迎えたいと思い、民青同盟員のAさんに入党を働きかけました。

とはいっても、私はAさんに会うのは2度目、党に対する認識もよくわからなかったので、ともかく仲良くなるころからだと思いお互いの自己紹介から始めました。

Aさんは、教師を目指していますが、深刻な教育現場の実態や過酷な働き方に不安を抱き、教師になることを迷っていました。「政治のこともそんなに深く考えたことがない」ということでした。私は、だからこそ入ってほしいと思いました。私も以前はそうだったからです。自分の経験も語り「人生の選択が問われている今だからこそ党に入りたい。一緒に学び、考えていこう」と率直に訴えました。

その場では決意できず年明けに返事をもらうことにしていましたが、正直難しいかなと思っていました。ところが年明け、入党申込書に記入して持ってきてくれました。実家のお父さんの励ましで背中を押してくれたようです。

大運動の中でもうひとつ大切だと思った経験があります。津山の市委員会のみなさんが私が応援に行くということで、自分たちのつながりの青年に声をかけ「青年のつどい」を企画してくれました。ところがつどい開始から1時間たっても対象者が来ず、どうしようかと思っていたら、30代の2人の男性が仕事終わりに駆けつけてくれました。一人は自営業の若社長、もう1人は健康器具の営業マンでした。それぞれ自己紹介をすると「競争が激しくて、毎日仕事をしていないとかえって不安になる」「遅い日は10時11時まで働いている」など、大変な実態が次から次へと出てきました。その場での入党には至りませんでした。私が帰ってからもしばらく仕事の話がつきなかつたそうです。

いまの若者がおかれている状況は、学校でも職場でも特別の深刻さが悩みも多様です。さらにそれが当たり前と思われていて、異常だと気づけなかつたり、自分のせいだと思っています。だからこそ、その思いを丸ごと受け止め、解決のために一緒に考えてくれる存在はとても重要です。黨員ならだれでもこういう存在になれるのではないのでしょうか。

激動の情勢を模索しながら生きている若者にとって、信頼できる大人に出会い一緒に学び成長することができるかどうかということは、人生を大きく左右します。みなさんの周りにも声をかけられるのを待っている若者がいるはず。ぜひ、その若者の人生のために、声をかけてあげてください。

共産党との出会いを待っている青年ともっともっと出会えるように、そして2つの大目標の達成のために、私もみなさんと一緒に知恵と力を尽くして頑張る決意を申し上げて発言とします。

上関町議選 前回比175%、参院比例上回る。しかし、6票差で惜敗。

16日投票でたたかわれた上関町議選で、日本共産党の田中てるひさ候補は、149票を獲得しました。前回票の1.75倍、参院比例票から9票増の大健闘でしたが、6票差で惜敗しました。